



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヒラノテクニード

コード番号 6245 URL <http://www.hirano-tec.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 松葉茂美

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務担当

(氏名) 定安一男

TEL 0745-57-0681

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	11,022	△54.3	524	△84.5	590	△82.9	387	△81.2
26年3月期第3四半期	24,134	130.3	3,375	280.9	3,452	267.6	2,064	248.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 478百万円 (△78.1%) 26年3月期第3四半期 2,182百万円 (254.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	25.79	—
26年3月期第3四半期	137.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	27,145	20,006	73.7
26年3月期	29,313	19,694	67.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 20,006百万円 26年3月期 19,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	△49.1	530	△85.1	600	△83.5	420	△80.2	27.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	15,394,379 株	26年3月期	15,394,379 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	349,902 株	26年3月期	349,728 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	15,044,565 株	26年3月期3Q	15,044,757 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2ページから3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
5. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の経済対策並びに金融政策等を背景に、企業活動や雇用情勢にも改善が見られるなど、概ね景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかし、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減も全体として回復基調にはあるものの実質的な物価上昇により個人消費マインドの冷え込みは長期化し、為替の急激な変動など不安要素もあり、景気の先行きは依然不透明な状況で推移いたしました。また、海外においては欧州やアジアの経済では減速傾向も懸念されるなど、不安定な状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、お客様に価値ある技術を創出し続けるべく、徹底した品質の管理のもと「構造の変化に迅速に対応」をスローガンにコスト・技術・ものづくりにおける改革のスピードアップを押し進めてまいりましたが、昨年来の受注環境悪化等の要因により売上高、利益ともに低調に推移いたしました。

また、受注状況につきましては、厳しい受注環境のもと光学機能性フィルム製造装置及び二次電池向け電極塗工装置を中心に推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,022百万円（前年同期比54.3%減）となり、利益面では営業利益は524百万円（前年同期比84.5%減）、経常利益は590百万円（前年同期比82.9%減）、四半期純利益は387百万円（前年同期比81.2%減）となりました。

受注残高につきましては、10,500百万円（前期末比11.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(塗工機関連機器)

当セグメントは、厳しい受注環境のなか、光学機能性フィルム製造装置関連を中心に推移いたしました。

その結果、売上高は4,913百万円（前年同期比6.4%減）となりました。また、セグメント利益は236百万円（前年同期比63.2%減）となりました。

受注残高につきましては、7,932百万円（前期末比15.9%増）となりました。

(化工機関連機器)

当セグメントは、成膜装置及び延伸装置を中心に推移いたしました。受注環境は厳しいものとなりました。

その結果、売上高は5,295百万円（前年同期比71.2%減）となりました。また、セグメント利益は650百万円（前年同期比79.7%減）となりました。

受注残高につきましては、2,200百万円（前期末比51.8%減）となりました。

(その他)

当セグメントは、染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造などを行っております。

売上高は814百万円（前年同期比53.2%増）となりました。また、セグメント利益は192百万円（前年同期比68.5%増）となりました。

受注残高につきましては、367百万円（前期末比26.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ2,543百万円減少し、20,508百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が762百万円増加する一方、現金及び預金が1,282百万円、有価証券が2,335百万円それぞれ減少したことによります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ375百万円増加し、6,637百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券が481百万円増加したことによります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ2,077百万円減少し、6,129百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が122百万円、未払法人税等が1,278百万円、1年内返済予定の長期借入金が154百万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ402百万円減少し、1,010百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が251百万円、退職給付に係る負債が258百万円それぞれ減少したことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ311百万円増加し、20,006百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益を387百万円、退職給付に関する会計基準等の適用に伴う影響額を164百万円それぞれ計上したこと及び配当金を330百万円支払ったこと、その他有価証券評価差額金が91百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年10月31日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

また、当社が販売する塗工機関連機器及び化工機関連機器等は受注生産であり、顧客の指定納期や発注時期も様々であります。よって各四半期において売上高及び受注高が同水準とならない場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が230,609千円減少し、利益剰余金が164,461千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,756,272	8,473,584
受取手形及び売掛金	5,073,001	5,835,402
有価証券	4,956,714	2,620,874
仕掛品	2,753,687	2,596,667
原材料及び貯蔵品	91,895	96,228
その他	422,868	888,270
貸倒引当金	△2,451	△2,734
流動資産合計	23,051,987	20,508,293
固定資産		
有形固定資産	3,687,790	3,519,401
無形固定資産	151,609	120,488
投資その他の資産		
投資有価証券	2,097,338	2,578,721
その他	324,954	418,667
貸倒引当金	△99	△99
投資その他の資産合計	2,422,192	2,997,289
固定資産合計	6,261,593	6,637,179
資産合計	29,313,580	27,145,472

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,941,969	3,819,494
短期借入金	—	122,500
1年内返済予定の長期借入金	540,660	386,088
未払法人税等	1,355,288	76,605
前受金	826,360	948,143
賞与引当金	180,198	56,811
製品保証引当金	39,423	18,184
その他	1,322,277	701,296
流動負債合計	8,206,178	6,129,123
固定負債		
長期借入金	516,140	264,560
役員退職慰労引当金	141,490	159,713
退職給付に係る負債	740,808	482,141
資産除去債務	10,027	10,196
その他	4,035	93,509
固定負債合計	1,412,501	1,010,120
負債合計	9,618,679	7,139,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847,821	1,847,821
資本剰余金	1,339,722	1,339,722
利益剰余金	16,733,741	16,955,171
自己株式	△407,012	△407,177
株主資本合計	19,514,273	19,735,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	313,148	404,998
退職給付に係る調整累計額	△132,520	△134,307
その他の包括利益累計額合計	180,627	270,690
純資産合計	19,694,901	20,006,228
負債純資産合計	29,313,580	27,145,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	24,134,636	11,022,911
売上原価	19,530,635	9,357,361
売上総利益	4,604,000	1,665,549
販売費及び一般管理費	1,228,778	1,140,787
営業利益	3,375,222	524,762
営業外収益		
受取利息	6,995	7,623
受取配当金	35,516	43,884
為替差益	23,639	15,161
その他	22,984	15,811
営業外収益合計	89,136	82,481
営業外費用		
支払利息	7,787	7,528
固定資産除却損	2,129	5,368
その他	2,153	3,490
営業外費用合計	12,070	16,387
経常利益	3,452,288	590,857
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,522
受取保険金	50,309	—
特別利益合計	50,309	2,522
税金等調整前四半期純利益	3,502,597	593,379
法人税、住民税及び事業税	1,440,671	114,131
法人税等調整額	△2,555	91,298
法人税等合計	1,438,115	205,430
少数株主損益調整前四半期純利益	2,064,482	387,949
四半期純利益	2,064,482	387,949

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,064,482	387,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118,014	91,849
退職給付に係る調整額	—	△1,787
その他の包括利益合計	118,014	90,062
四半期包括利益	2,182,496	478,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,182,496	478,011
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	4,509,731	+3.7
化工機関連機器	4,278,878	△71.1
その他	568,751	+54.1
合計	9,357,361	△52.1

(注) 1. 金額は生産原価で、上記の内には外注生産によるものも含んでおります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前期末比(%)
塗工機関連機器	6,000,381	△9.3	7,932,903	+15.9
化工機関連機器	2,934,816	△37.1	2,200,055	△51.8
その他	682,865	△9.1	367,187	△26.3
合計	9,618,063	△20.1	10,500,145	△11.8

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	4,913,220	△6.4
化工機関連機器	5,295,527	△71.2
その他	814,163	+53.2
合計	11,022,911	△54.3

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。